



社会医療法人近森会

発行 ● 2012年4月25日

びろっば 5

Vol.310

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者●近森正幸/事務局●川添昇

2012年4月1日北館病棟完成 高知初の SCU(脳卒中ケアユニット) も備える

診療支援部部長 寺田 文彦
施設用度課課長代理 楠瀬 達也



寺田文彦(向かって左)と楠瀬達也



北館病棟屋上

近森病院整備5カ年計画の4番目の建物、「近森病院北館病棟」が4月



▲北館病棟外観

1日に完成しました。近森病院の急性期病床拡充を目的に、昨年5月に着工、約11カ月の工期を費やして稼働する運びとなりました。

新館病棟の再編成と北館への引越作業を併せて行うことで、総勢300人の患者さんや備品などの引越作業をエマルゴ形式のシミュレーション(通常災害時に利用する方法)をもとに3日

間をかけて行いました。高齢で重症の患者さんの移動など、各部署との連携のもと、スムーズな引越作業となりました。

建物は地上8階建ての急性期病棟として利用し、1階は事務室や相談室、
(2面に続く)

歴史は繰り返す



近森 正幸

移ったため、北館を病棟に改築、8病棟の名称で使用を開始している。新館が完成した平成4年(1992)には北館の病棟をすべて移転し、その後北館は保育室や職員食堂、図書室、病歴室、検査室として使用していた。

一方旧管理棟は、昭和60年(1985)9月に結婚式場を譲っていただき管理棟として改装、最上階の宴会場は精神科の患者さんが働く食堂として利用されていた。

こうして北館と管理棟の歴史をみると、近森病院の急性期機能が拡大充実することで、北館も時代に合わせて絶えず変化してきたことがよくわかる。北館病棟は旧8病棟に比べ病床数は145床と変わらないが、容積的には倍以上になっており、急性期中規模病院並みの機能を備えている。近森病院の入院機能が再び道を隔てて分断されることになるが、電子カルテにより情報は共有され、必要な検査やリハビリの機能を有していることから、今後、本館と一体となって急性期医療を展開することになる。

理事長・ちかもり まさゆき



▲北館病棟2階SCU



▲北館病棟7階リハビリフロア

この4月1日に完成した近森病院北館病棟は、旧北館と旧管理棟、税理士事務所のあったスペースに建てられた。これらは本館の北側に道路を隔てて隣接しており、これまで本院の急性期機能を補完する役割を担ってくれていた。

旧北館は昭和46年(1971)11月にストレッチャーが入るエレベーターを備えた看護婦寮として完成したが、前年8月に襲来した台風10号で被害にあった木造二階建てを本館に建て替えるために、昭和47年1月から一年間ほど仮設病棟として使用した。昭和52年には小川寮の完成で看護婦寮が

〈2面から続く〉 薬局の他に、CT室やX線一般撮影室、腹部エコー室、心エコー室などを完備、2階は高知県で初となるSCU (Stroke Care Unit) が15床と、HCUが16床となります。当院では、近年脳卒中で救急搬送される患者さんが増加しており、SCUでは急性期脳血管疾患の患者さんを治療するための専門病棟として、より高度な治療を行うことが可能となります。

3階から5階は各フロア34床、6階は12床(個室含む)の一般病棟、7階は北館の入院患者さんが訓練するためのリハビリ室があり、8階は屋上で入院患者さんの洗濯物を干せるスペースを用意しております。外構は周辺を公開空地とし、住民の皆さんに通行できるように開放しました。

工事期間中、近隣住民の皆さんはもちろんのこと、入院中あるいは通院の

患者さんにも騒音や振動などで、たいへんご迷惑をお掛けしましたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。

引き続き6月には管理棟別館の完成、7月には新館の耐震化および改修工事の完了、そして今秋には新本館(仮称)の建設工事が始まる予定です。今しばらくご不便をお掛けしますが、よろしくお願いたします。

てらだ ふみひこ/くすのせ たつや

出張報告 — タイ・サミティヴェート病院研修報告

貴重な体験となったタイ研修

近森病院医療安全専従看護師長
田村 一恵

3月19～29日の期間、医療安全活動の現状把握と職員交流を目的とした研修に参加する機会をいただきました。当初、昨年10月下旬の予定が、洪水の影響により今回の日程となりました。幸い、サミティヴェート病院は

バンコク市内に位置するため、洪水の直接被害はありませんでしたが、勤務される職員の方の中には自宅が被害に遭われ、現在でもアパートや寮での生活を余儀なくされている状況です。

サミティヴェート病院の皆さんと。左から3人目が筆者



サミティヴェート病院は、バンコク中心部の日本人が最も多く在住するスクンビット地区にあり、平均在院日数は3日、病床数は275床(全室個室:スタンダードルーム～プレジデントスイートルーム完備)の病院です。1日の日本人外来患者数は約300人と、多くの日本人が受診することから、24時間年中無休体制の日本人相談窓口が設置されており、総勢20名のスタッフがローテーションで診察時通訳、外来予約受付、医師紹介、問い合わせなどの対応をしています。このような細やかな対応が、コミュニケーションエラーに伴うトラブルの回避や安心して受診できることへの顧客満足につながっていると感じました。

医療安全に関する活動は、クオリティーセンター(11名のスタッフ)が感染、医療安全、顧客満足の3部門を管理し、業務改善による顧客、職員満足に繋げる活動や職員教育を中心とした活動の紹介をしていただきました。クオリティーセンターが取り扱う月間報告件数は300～400件程で、院内だけでなく外部からのeメールやフェイスブックを利用した報告も含まれ、ヒヤリハット～アクシデントを9段階のレベルに分類し管理され、報告内容は全部署マネージャー以上の職員にイントラネット上で公開されています。

研修ではサミティヴェート病院の皆さんに大変お世話になりました。貴重な機会を与えていただいたことに感謝し、これからも職員交流が継続されることを願っております。たむら かずえ [サミティヴェート病院からの研修生は11面]

春4月となり、東日本大震災から1年余りが経過しました。合掌。

今春、近森病院に採用された142名の新入職員は、まず、病院職員という大きな絆の構成員となり、ついで職種に従ってより機能的である小さな絆に分類されていきます。

「健・絆・癒の心」からいえばそれぞれの絆の中では新人に対して、知識や技術面のみならず、精神面においても癒し作用を伴う十分な配慮と指導が求められます。

6年前の春、新人であった私は初日に多くのスタッフから温かく、しかも自然に挨拶していただき、驚き感動しました。私は「慈愛のこもった挨拶」こそ「ヒトとヒトのコミュニケーション」の原点、そして「医療行為」の基本と考えながらも十分に実践出来ていなかった。挨拶が自然に行われている様子に接し「凄く、大変な病院に来た」というのが、本来の業務以外の初日の感想でした。

その後、優れた挨拶の実践者の多くは四国管財のスタッフの皆さんで

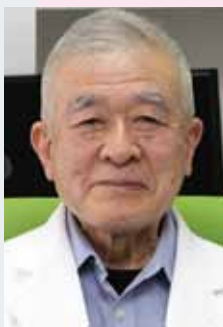
あることが次第に分かってきました。6年間で直接お会いした皆さんは年々変わりましたが、その仕事の丁寧さと責任感、そして優れた挨拶はほとんど変わることはありませんでした。

四国管財の松野ディレクターのお話では現在、近森病院の全館の清掃業務、受付や外来などのクラーク業務、アテンダントやポーターさんの仕事、病棟の補助業務、内視鏡室やエコー室の器具の洗浄、設備部門施設管理センター、近森会保育所「そと」、第6駐車場などに総勢約160名のスタッフがそれぞれの業務を担っておられるそうです。その中で、優れた人間性が感じられ、目標にしなければと考えていたスタッフが実は四国管財の職員であったことに驚き、納得しました。

病院にはその他、様々な会社が、それぞれの立場から加わっておられ、院内の職員による絆は院外からの多様な絆とあわせ強化、集大成され、チーム医療を掲げる近森病院を根底から支える「大きな人的パワー」になっています。

私の流儀 3回

院内外の絆、四国管財の皆さん



図書委員会委員長
病理診断科部長
えんざん ひであき
山 英昭

話では現在、近森病院の全館の清掃業務、受付や外来などのクラーク業務、アテンダントやポーターさんの仕事、病棟の補助業務、内視鏡

急性期と回復期をつなぐベテランナースのローテーション

—患者さんの意欲、行動、
表情の変化に感動！—近森オルソリハビリテーション病院
看護部長 尾崎 貴美

当院に入院される整形外科の患者さんの9割以上が突然の怪我や骨折等で、急にいままでとは違った病院という環境のなかで、不自由な生活を余儀なくされ、苦痛と不安をいっぱいかかえながら入院生活を送ります。

そんな患者さんの治療過程を総合的にトータルで理解し、安心、安全な質の高い確実な看護サービスを提供し、一日でも早く地域（自宅）へとつなげる看護をしたい。そんな思いで昨年7月より orthopedics nursing（整形外科看護）のすべてを知ろうと、ベテランナースの急性期と回復期で長期（1年）と短期（3カ月）を組み合わせた研修ローテーションを開始しました。

当初は戸惑いがあったものの現在は

3組のローテーションが終了し、急性期では多重な業務処理の多いこと、術前術後の観察や処置に終始追われながら患者さんの安全を第一に看護サービスの優先順位を考えていく中で、もっとやりたい看護への限界を感じジレンマを持ちながらおこなっ

ている看護。また、回復期ではじっくりと患者さんと向き合い、一人ひとりに合った方向性を各職種とチームで考え在宅を視野においた関わり方など、創造する看護を実践することで、一方だけでは気がつかなかったことがそれぞれにたくさんの気づきが出来てきています。

お互いに新しい発見をして個々の患者さんに合わせた入院から退院、そしてその後の生活に向けての広い視野を持った整形外科の看護師になってもらい、「何よりも患者さんの意欲、行動、表情の変化に感動した！」そんな看護師がまたひとり増えるように、今後も患者さんに満足していただけるような看護サービスにつなげていくために継続していきたいと思えます。

おさき きみ

院外エッセイ

初めてオートジャイロを見た日

都築 憲司 つづき けんじ

略歴：1939年（昭和14）3月高知県南国市立田（旧香美郡日章村）に生まれる。中学生の頃から写真を始め現在に至る。UFO研究者
※写真は五歳頃石巻市住吉公園で父が撮影



戦時中、私は幼少期の数年を石巻市で過ごしました。石巻駅は当時の私の遊び場であり、駅長さんは友達でした。昭和18年初冬、幼稚園が休みの日曜日、駅舎の下見板に寄りかかって駅前広場を歩き交う人々をぼんやり眺めていました。

突如頭上間近に飛行機の爆音が炸裂し、驚いて見上げる間もなく屋根のひさしからゆっくりと姿を現したそれは、手を伸ばせば届きそうな低空をのろのろと進む、見たことも無い異形の飛行機でした。

機首にはふつうにエンジンとプロペラがあり、小さな翼と尾翼が付いていて、そして機体の上部には大きな竹とんぼの羽根のようなものが傘のように回転していました。その下にふたりの乗員が見えたのと、その飛行機に対する好奇心が勝ったことで、恐怖心が消えて落ち着いて観察できました。

操縦士は飛行帽の頭部しか見えなかったのですが、飛行眼鏡を付けた水兵さんがセーラー服の背中の襟をはためかせ、身を乗り出して下を見ていました。

飛行機が駅前広場の中央にさしか

かったとき、手に持った銀色の金属の筒のようなものを落としました。それには色とりどりのリボンが付いてあり、まっすぐに地面に落下すると、瘦身の駅長さんが小走りに駆け寄って筒をひろいあげ、頭上の飛行機に手を振りました。ひときわエンジンの音が大きくなり、奇妙な飛行機は西の方へ加速上昇してたちまち見えなくなりました。

家に駆け戻り母にいま見たことを話しました。母も先ほどの飛行機を見ており、あれは松島の海軍航空基地から飛来したオートジャイロというもので、手紙が入っている通信筒をあの手紙さんに届けたのだろうと教えてくれました。そして、「外地の戦場で何か異変があったのでなければ良いのだが」と母は心配し、たぶん休日に街に出た基地の隊員を至急呼び戻すためだろう、ともいっていました。

翌年だったか、石巻から富士山に見える沼津に移ったとき、富士山のとっぺんにぽっかりと白い雲が浮かんで、B29が真っ二つになって落ちてきた。そんな体験からだろうか、いまはUFOにのめり込んでいる。

5月の歳時記

カーネーション

近森オルソリハビリテーション病院
理学療法士

中村 文香



赤色に染まるカーネーションの花言葉は「母への愛」。昨年度のNHK連続テレビ小説では、一つの時代も母とは強く生きる生き物であり、いくつになっても母は母であることを感じさせられた。母という大きな存在に対して感謝の気持ちを胸に、この想いを乗せた赤い花が今年も多くの母へ届くように。 なかむら あやか



絵・総務課広報担当
公文幸子

乞！熱烈応援

これからは教育にも

近森病院消化器内科

科長 富田 秀春



早いもので、近森病院に赴任して6カ月が経ちました。4月からは新しい仲間も迎え、気持ちを新たにということですが、自分も消化器内科科長を拝命しました。

これまで教えられる立場で仕事をすることが多かったのですが、今後は研修医などの教育にも携わらなければなりません。安全面にも配慮し、試行錯誤しながらやっていきたいと思っています。

とみた ひではる

強みを活かして

近森病院第二分院 5階病棟

看護師主任 山中 俊典



長期研修で病棟を不在にした後、飲み会のときにある看護師から「病棟への影響をどう考えているの？」と投げかけられました。わたしは自分の存在が必要とされている喜びと同時に、考えもしなかった「視点」をいただきました。

わたしの病棟にはさまざまな「視点」があり、それが「強み」となります。今後も、この「強み」を活かせるよう努力していこうと考えております。

やまなか としのり

患者さんの視点から

近森病院第二分院

ストレスケア（4階）病棟

看護師主任 永田 敏博



第二分院ストレスケア病棟で働かせていただいています。今年の4月より主任となり新たな事に衝突し日々大変ですが、スタッフに支えられて頑張っています。

患者に寄り添い、患者さんの視点から常に考えるチーム作りを目指しています。仕事を覚えるのは人一倍以上時間がかかる方です。しばらくは皆さまの力をお借りしてその時間でたくさん勉強させてください。業務でたまった疲れなどは息抜きにサウナで発散しています。

ながた としひろ

お知らせ

●第59回よさこい祭り・踊り子募集!!

ちかもり～縦横夢人「風」～

本祭 8月10日(金) 11日(土)

後夜祭 8月12日(日)

※対象・近森会グループ職員および関連会社職員様 詳細はサイボウズ掲示板をご参照ください

●第237回高知市医師会

生涯教育カンファレンス

「循環器内科医からみた

末梢動脈疾患(PAD)について」

近森病院循環器内科部長 關 秀一

日時 5月31日(木) 19:00～

会場 高知市総合あんしんセンター

3階中会議室

2012年3月の診療数 システム管理室

近森会グループ

外来患者数 17,835人

新入院患者数 850人

退院患者数 920人

近森病院

平均在院日数 13.63日

地域医療支援病院紹介率 93.75%

救急車搬入件数 389件

うち入院件数 207件

手術件数 434件

うち手術室実施 268件

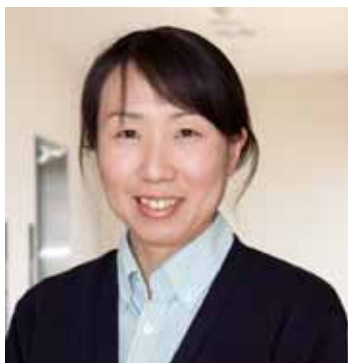
→うち全身麻酔件数 153件

●平成24年3月度県外出張件数 件数59件延べ人数108人 ●

寄り添いたい

近森病院第二分院 3階病棟

看護師主任 溝依 百世



近森会へ就職してから14年目を迎えました。それと同時に、精神科看護一筋に今日まで、たくさんの方にご指導いただきながら仕事をさせていただきました。

まだまだ未熟ではありますが、これからも患者さんの想いに寄り添いたい！という気持ちを忘れずに、日々精進していきたいと思っています。

今後とも、ご指導よろしくお願いたします。

みそより ももよ

新たな気持ちで

診療支援部

医事課主任 刈谷 雅理



近森病院へ就職し周囲の方々にも助けをもらい、これまで仕事をする事ができました。今までできてきたことが自分にできるのか、不安も感じつつ新たな気持ちで身を引き締め、何事にも前向きに頑張っていきたいと思っています。

まだまだ力不足でご迷惑をお掛けすると思いますが、少しずつみんなの助けになれるよう努力していきたいと思っています。ご指導のほどよろしくお願いたします。

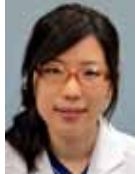
かりや まり

新入職員の皆さん



山科 周介

やましな しゅうすけ①循環器内科医師②広島県③金沢医科大学④雪国の金沢で13年暮らした後、この度高知県での勤務となりました。趣味は食べ歩き(特にラーメン)です。高知のいいところ美味しいものを楽しみたいです。



小松 奏子

こまつ かなこ①神経内科医師②高知市③高知大学④いろんな方に相談したり、教えてもらいながらbestな診療を目指したい。よかったら病棟で声をかけてください!



荒川 悠

あらかわ ゆう①呼吸器内科医師②高知県③高知大学④呼吸器だけでなく、血液疾患も診ます。本職は感染症です。こんなふうには仕事内容は雑多です。趣味も雑多でテニス、読書、サイクリング、カメラ、ネットサーフィン等。力かないとすぐ太るのでテニスは続けたい。でも仕事はきちんとこなします。



村岡 朋美

むらおか ともみ①消化器内科医師②土佐市③高知大学④1年ぶりに戻ってきました。院内のアットホームな雰囲気大好き。精進していきたいです。



林 拓男

はやし たくお①整形外科医師②広島県三原市③北里大学④岡山労災病院よりの転勤です。趣味はウインドサーフィン、SUP(stand up paddle)。同じ趣味の方、興味のある方はお声がけください。



清水 達彦

しみず たつひこ①麻酔科医師②山口県③岡山大学病院④まだ未熟でご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯つとめさせていただきますので、ご指導よろしくお願いします。



岡橋 一憲

おかはし かずのり①形成外科医師②大阪府③大阪医科大学④生まれてから28年目にして初の高知進出です。食べ歩きとぶらり旅が趣味なので、高知の美味しいものを動力源にして、日々頑張ります。



日浦 裕子

ひうら ゆうこ①リハビリテーション科医師②高知市③札幌医科大学④北の大地に憧れて北海道にまで行きましたが、20年かけて徐々に南下して、気づけば高知に戻っていました。土佐弁再習得中です。



〔研修医〕



後列左から井上薪、古曾部和彦、佐島和晃、菅根裕紀、古月拓己、塩田尚史。前列左から雲井美帆、重清知子、滝内るり子、宮本由賀、衣笠由祐、楠目宝大

井上 薪 いのうえ しん ①初期研修医②兵庫県神戸市③高知大学④大学では、バレーボールと茶道部に入っていました。釣りが大好きで、これからもたくさん仲間と釣りに行きたいです!!

古曾部 和彦 こそべ かずひこ ①初期研修医②兵庫県宝塚市③大阪医科大学④研修医で唯一人高知大ではないです。趣味は水泳と筋トレです。高知では美味しいお酒をたくさん飲みたいです。

佐島 和晃 さじま かずあき ①初期研修医②広島県③高知大学④研修医1年目、広島県出身です。大学ではテニスをよくやっていた。最近ゴルフを始めましたが、難しく挫折しそうです。

菅根 裕紀 すがね ひろき ①初期研修医②千葉県勝浦市③高知大学④高知で7年目です。カツオのたたきが好物で、高知の鰹のように「活き」が良く、人物的にも「粋」な医師になりたいです。

古月 拓己 こつき ひろき ①初期研修医②福島県③高知大学④福島は寒いので、とりあえず研修の2年間は高知に残ることにしました。厳しくも楽しい職場であるといいですね。

塩田 尚史 しおた なおふみ ①初期研修医②高知県③高知大学④初めまして。4

月より初期臨床研修医として働くことになりました。趣味、特技としては走ることに空手をやります。全力出します。

雲井 美帆 くもい みほ ①初期研修医②兵庫県③高知大学④テニスやバスケット、パーティーなどをするのが好きです。よく遊び、よく学べるよ

う、メリハリ生活を心がけます!完全燃焼します!

重清 知子 しげきよ ともこ ①初期研修医②徳島県阿波市③高知大学④大学から高知に来て、よさこいとダイビングにはまり、すっかり気持ちは高知県人です。毎年、夏が本当に待ち遠しいです。

滝内 るり子 たきうち るりこ ①初期研修医②静岡県③高知大学④打たれたらヘコみますが、打たれて伸びるタイプです。テニスで培ったガッツと情熱で、実りある2年にしていきたいです!!

宮本 由賀 みやもと ゆか ①初期研修医②高知市③高知大学④出会うもの全てに感謝を忘れず、何事も誠実に臨んでいきたいです。2年後に今よりひと皮もふた皮も剥けていることを目指します!

衣笠 由祐 きぬがさ ゆうすけ ①初期研修医②高知県③高知大学④大学では、テニスとダンスをしていました。趣味は、ダイビング、スキーです。でも一番の趣味は「麻雀」です。麻雀仲間随時募集中です。

楠目 宝大 くすめ たかひろ ①初期研修医②京都市③高知大学④大学ではヨット、最近はウインドサーフィンを始めようと計画しています。興味がある方は是非一度声をかけて下さい!

サミティヴェート病院(タイ)から実習中のナースたち

3月30日から4月27日まで研修

管理部長の
こだわりヘルシー美食 27

近森会管理部長 川添 昇

タイの明るい三人ナース

人材交流の一環としてタイから実習生

日本人旅行者や駐在員の多い国として知られるタイのバンコクから、近森会と人材交流を続けるサミティヴェート病院さくらチームの三人が、いま近森病院で実習を行なっている。一カ月弱の実習期間中ちょうど三分の一程度が終わったばかり(取材時)だが、はや各部署に友だちができるなど、人懐っこさと積極性を存分に発揮した楽しい実習が続けられている。

日本人の専門窓口「さくらチーム」

サミティヴェート病院の患者の2割は日本人といわれていて、専門の窓口と、「さくらチーム」があるが、そこに所属しているだけあって、三人の感性はいかにも日本人に合いやすいようだ。患者さんと接する際に心がけているのは、「患者さんを自分の家族の一員」だと思うことだし、その対応は「自分がして欲しいようなことを相手にもする」ということなのだそう。

「患者さんを温かく励まし続けたい」とか、「優しさと尊敬の念を込めてケアしたい」など、日本人なら云わずもがなのような看護の心を言葉にするのは、異国の地において病院にかかることになった日本人の心細さを優しく包む必要があるためだろう。

三人三様、看護師への道

看護師になった理由をカトイさんは「看護は変化に富んだ挑戦に値する仕事」だといい、ファイさんは「サイエンスとアート」の魅力を併せ持つ看護に興味をもったのだそう。ニットさんには兄と弟がいて、一人娘のニットさんに両親は看護師になることを望み、それが若い頃からの夢だったという。そして両親が年老いたとき自分が面倒を見るためにも看護師という職業を望んだのだそう。

さらに、英語のコミュニケーション能力テストTOEIC(満点990)で950点の高得点を持つニットさんは、22年間ずっとICU病棟に勤務していることに触れ、「自分に与えられている仕事の面白さも重要性も十分承知している」と、自信に満ちたようすで話してくれた。そして、「次々起こる問題を解決することが常に求められ、それがやり甲斐にも繋がる」と、いかにもベテランらしく頼もしい。しかも楽しげ



江ノ口川河畔の桜の下で、左から順に Pavita Katoii (パピタ カトイ) さん、Nattakan Fai (ナッタカーン ファイ) さん、Dhitiwan Nit (ディティワン ニット) さんに看護の何たるかを語り、改めて看護師という職業の魅力を教えられるインタビューとなった。

アフターファイブ

ところで、現在は仕事には各部署を順に見学して回っているそうだが、どうやらアフターファイブも充実しているらしい。三人とも高知の気候を寒がってはいるが、高知や土佐人が大好きだそうで、夜は寮に帰って自炊をする日もあるが、外にも積極的に出ているのだそう。ファッションにもアニメにも食事にもそれぞれが興味を持っていて、はるばる高知にまで実習に訪れる情熱は、高知の旨いものどころにも十分通じているようだった。

サミティヴェート病院で行われた
義援金の感謝状授与式

タイ大使館公使(左から3人目)を交えて



セレモニー会場のモニターに映し出された「ありがとう」



糖質制限食—炭水化物ダイエットを緩く実践している。

何でも徹底するのが苦手な性格(要するにルーズ)なので1週間に1~2日はフリーデイと称し世界一美味しいご飯やソバ、パスタなどを食している。少しは効果はあるようで5kg 弱の成果は上っている。今回はダイエットレシピである

「牛すじ煮込み」



画・臨床栄養部科長 吉田 妃佐

無性に肉が食べたくなる時がある。疲れているときなのか、あるいはその逆で元気一杯のときなのか。馴染みの精肉店で、土佐赤牛のスジ肉を買う。ついでにステーキ用の赤身(3センチ厚)を一切れ(250グラムぐらいか)も買ってしまふ。

〈作る〉

① 牛すじ肉をしょうがのスライスとニンニク2片を漬して入れたたっぷりの水でゆでる。

② 浮いてくるアクと脂肪分を丁寧かつ徹底的に取り除く。

③ スープが澄んできたらすじ肉を取り出し水洗いし、食べやすい大きさに切り再び投入、2時間くらい煮込む。

※脂肪やアクを取りつつ、途中スープや肉を塩コショウで味見をする。ハイボールなどを飲みながらの土曜の午後は嬉しい。

④ 一晩置いて翌日、焼酎、ざらめ砂糖、醤油、赤唐辛子、好みで味噌を投入して2~3時間煮て完成。

〈食す〉

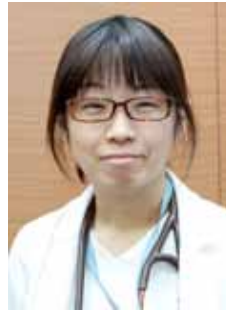
豆腐やこんにゃくを入れて少し煮込んでからネギを散らせて食す。コラーゲンたっぷり女性にも嬉しいメニューである。

お酒は芋焼酎のロック(少し加水したもの)。二日もかけて作った愛しきスジ煮込みなのだから不味い訳はない。なお前述のステーキはその日のうちにスジスープとともに食しました。もちろんこっちは濃い目の赤ワインで。

若林先生のリハ栄養講演会

栄養はリハビリのバイタルサイン

近森リハビリテーション病院
リハビリテーション科科长 和田恵美子



講演中の若林秀隆先生

3月22日に横浜市立大学の若林秀隆先生を迎えてリハ栄養についての講演会を行いました。

リハ栄養というと聞きなれない言葉ですが最近リハビリテーションの現場

で注目を集めています。「①栄養障害や不適切な栄養管理下におけるリハのリスク管理②機能訓練の時間と負荷量を考慮した栄養管理③筋力・筋肉量・持久力などのさらなる向上を目指した

栄養管理」がリハ栄養の主な内容です。

不適切な栄養管理のままだと筋力向上どころか体調不良の原因になります。「栄養はリハビリのバイタルサイン」であり、急性期から維持期まで、適切な栄養管理をおこない効果的な運動訓練をおこなっていくことの重要性が周知できたことと思います。さらに興味のある方は若林先生のリハ栄養のブログもご参照ください。

わだ えみこ

近森会保育所

「そると」卒園式

3月31日の土曜日、管理棟4階にある近森会保育所「そると」の記念すべき第1回目の卒園式が行われました。元気な19人の「ちかもりっ子」が卒園しました。



お花見会

近森病院臨床工学部

臨床工学技士 橋本 将幸

春だ!桜だ!お花見だ!ということで4月7日(土)佐川町の牧野公園にて恒例となったお花見会を開催しました。当日少し風はあったものの、お天気にも恵まれ、絶好のお花見日和となりました。

今回も定員を上回る78名の参加があり、なかにはパンダのきぐるみになった者や町娘に扮した看護師さんたちがいたり満開の桜の下で大変賑やかな宴会となりました。

はしもと まさゆき



初期臨床研修 修了式によせて

近森病院外科部長
八木 健



3月23日に23年度臨床研修修了式が行われました。今回修了予定の山本亜希研修医が出産、育児のため研修の修了が遅れたため、高知大学とのたすきがけプログラムで1年間研修した梅下仁研修医一人の修了式となりました。それでは少し寂しいということで、山本亜希先生の同期だった3人のたすきがけ研修医や、短期間でも当院で選択科研修を行なった先生たちにも出席してもらい、にぎやかな会となりました。

あらためて若い先生方のエネルギーが医療の将来を担っているということを感じました。それぞれの道に一歩進み出した研修医たちの輝く顔を頼もしく見つめながら、また今年4月から新たに近森病院で初期研修を開始する12人の若い先生たちの笑顔を想像しながら、修了式の夜は更けていきました。

やぎ けん

研修を終えて

初期研修医
梅下 仁



おかげさまで近森病院での1年間の研修を無事終えることができました。先生方をはじめ、看護師さんや他のコメディカルスタッフの皆さんには本当にお世話になりました。また、何より楽しい同期研修医たちに囲まれて研修できたことをうれしく思っています。

この1年で本当にたくさんのことを学ばせていただきました。1年目に身につけた知識や技術といった「武器」は、これから僕の医師人生において一生の基礎であり続けます。今後もそういった「武器」の数や使い方のバリエーションを増やしていけるよう、頑張っていきたいと思っています。

最後になりましたが、この1年間温かく見守ってくださった皆さん、ほんとうにありがとうございました。

うめした じん

リレーエッセイ

春・爛・Run

近森リハビリテーション病院
3階西病棟看護師 青木 孝之



春です。温かくなりましたね。運動するには良い時期になりました。この時期にぴったり、僕のハマっている趣味を紹介します。

ハマっているのは「ランニング」です。そうです、ランニングが今熱いんです。今年1月から走り始めて、3月に「テレビ高知健康マラソン」に行ってきました。天気も良くて、とても気持ちよく走ることができました。犬と一緒に走っている人もいて、ほほえましかったです。

初マラソンだったのでゴールしたときには気持ちよさと嬉しさがありました。完走後の爽快感もさることながら、ハマっている最大の理由は、走った日の夜の「ビール」と「ごはん」がおいしいからなんです。そうです、本当においしいんです。マラソン前はバナナとパンの朝ごはんだったので、夕ごはんはガッツリときました。おいしいごはんとビールとがとまりませんでした。「肉」と「魚」はたまりませんよ。

まだまだ始めたばかりなので、気長にゆっくり楽しみたいと思います。目標はホノルルマラソンと来年開催の高知龍馬マラソン、龍馬脱藩マラソンです。職員旅行のツアーで連れて行ってくれないかな。そうです、本当にいきたいんです。 あおき たかゆき

編集室通信

数年前から、昔に作られた和家具を少しずつ揃えています。アンティークとは呼びたくない、骨董にはなっていない現役ばかり。限られた予算と一期一会の出会いの狭間で、悩み抜きつつ縁を得たものたちには愛着ひとしお。歳月に磨耗されないものには品格が備わっているなあと、名も無き職人たちの誠実な手技に背筋の伸びるこの頃です。(妃)

図書室便り (2012年3月受入分)

- ・BLSヘルスケアプロバイダー受講者マニュアルAHAガイドライン2010準拠 / American Heart Association (著)、境田康二 (他監修)
- ・救急レジデントマニュアル第4版 / 相川直樹 (他監修)
- ・臨床中毒学 / 上條吉人
- ・イラスト&チャートでみる急性中毒診療ハンドブック / 上條吉人
- ・医薬品情報学第3版補訂版 / 東京大学出版会
- ・正しいケアと根拠 急変対応 何が間違い?それはなぜ? / 東北大学病院看護部クリティカルケアチーム (編著)
- ・隔離予防策のためのCDCガイドライン2007 医療環境における感染性病原体の伝播予防 / 満田年宏 (訳・著)
- ・カテーテル関連尿路感染予防のためのCDCガイドライン2009 / 満田年宏 (訳・著)
- ・血管内留置カテーテル関連感染予防のためのCDCガイドライン2011 / 満

お弁当拝見 2



曲げわっぱのお弁当

社会医療法人近森会理事長
近森 正幸



いつもお昼は妻の手作りのお弁当を楽しんでいます。今日は左からごはんの上にちりめん山椒、露の臺の佃煮、中段は原木椎茸とせせりのフライ、カリフラワー、ラディッシュ、右側は三つ葉と海苔の和え物、ひじき、ポテトサラダと、食欲をそそります。

弁当箱は曲げわっぱで、白木がごはんの水分を程よく吸収し冷めても美味しく、秋田杉の香りが食欲をそそり、杉の殺菌効果でごはんが傷みにくく常温で一昼夜も持ちます。

なにより気に入っている点は量が入らずダイエットに最適だということです。 ちかもり まさゆき

●「診療数」と「出張件数」は4頁へ●

- 田年宏 (訳・著)
- ・医療環境における多剤耐性菌管理のためのCDCガイドライン2006 / 満田年宏 (訳・著)
- ・医療施設における消毒と滅菌のためのCDCガイドライン2008 / 満田年宏 (訳・著)
- ・ベストプラクティス NEW 感染管理ナースィング / 洪 愛子 (編集)
- ・世界一わかりやすい。医学統計シンプルスタイル+ / 落合隆志
- ・臨床看護研究の道しるべ / 操華子 (他著)
- ・原稿用紙10枚を書く力 / 齋藤孝 《別冊・増刊号》
- ・別冊 医学のあゆみ 創傷治療の最前線 / 望月真弓 (編集代表)
- ・臨床精神医学40巻増刊号精神科・わたしの診療手順 / 豊嶋良一 (他編集)
- ・臨床麻酔臨時増刊号臨床麻酔誌上セミナー '12 / 真興交易(株)医書出版部 (編集)